



マークの付いた行事は「石狩市 市民生活便利帖(動画版)」でもご紹介しています。 <http://benri.i-eris.tv/>



マークの付いた行事は「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。 <http://www.i-eris.tv/>

■11/24(日) 恩納村訪問団を歓迎



10月に友好都市・災害時等相互応援協定を締結した沖縄県恩納村から村長ほか12人の訪問を受け、シャトレゼガトーキングダムサッポロで歓迎会を開催しました。歓迎会ではアトラクションとして望来獅子舞保存会の演舞で郷土芸能を、また観光親善大使・石狩流星海が、よさこいソーラン演舞を披露。翌日には、双葉小学校で同校3年生がエイサーの踊りと唄を発表し、友好の絆をさらに深めました。

Voice

国体のソフトボール競技が縁で友好都市となったこともあり、ソフトボール協会の一員として参加しました。日本の北と南が交流し、歓迎会は大変盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができました。(石狩ソフトボール協会理事長 白濱勝さん)



■11/24(日) カローリングで他市町と交流

2013全道カローリング交流大会inいしかりをB&G海洋センターで開催。石狩市をはじめ、札幌市や江別市、美唄市や南富良野町などから全30チームが参加し、汗を流しました。カローリングはカーリングの室内版で、プラスチック製のストーンの底に車輪がついたもので競技を行い、誰でもすぐに楽しめるのが特徴。とはいえ、ゲームは最後の1投まで白熱した展開で、会場には参加者の一喜一憂する声が響いていました。

Voice

毎年参加しています。練習では20点代の点数が取れていたため、本番でその成果を出せるよう皆で頑張りました。結果、3位に入賞し、石狩の特産品をもらえてうれしかったです。(石狩聴力障害者協会チームすみれ 中坪美香さん)



■11/30(土) 北海道枝肉共励会で最優秀賞

帯広市で開催された平成25年度北海道枝肉共励会(ホクレン主催)の黒毛和種の部で、浜益区の寺山広司さん(JA北いしかり)出品の去勢牛「勝久号」が最優秀賞を獲得しました。黒毛和種の部には道内から116頭の牛が出品され、同じ浜益区の笹雄一郎さん(JA北いしかり)出品の去勢牛「大勝利号」も優秀賞4席に入賞。今回の寺山さんと笹さんの受賞は、市内畜産業の飛躍につながると期待されます。

Voice

全道大会で2頭の入賞、そのうち1頭が最優秀賞(農林水産大臣賞、北海道知事賞ほか6賞)なんて夢のようです。石狩市では平成18年度の湯浅さん以来ですね。(浜益和牛改良組合副組合長 河野幹男さん)



■12/6(金) 皆で餅つき大会!

はまます保育園で、餅つき大会が行われ28人の園児と保護者が参加。お母さんやおばあちゃんがふかした餅米を、お父さんやおじいちゃんがこねて、園児たちが代わる代わるべったんべったんについていました。出来上がったお餅は早速、きな粉やお汁粉、雑煮などにして皆でおいしそうに味わっていました。

Voice

レンジでチンしないおもちをはじめで! やわらかくてすぐおいしいよ。おうちでもたべたいな!(門脇世奈さん)





まちの主な出来事を写真で振り返ります。

まちの話題



■10/27(日) ワールドフェスティバル2013



NPO法人石狩国際交流協会による、毎年恒例のイベントが花川北コミセンで行われました。11回目の今年は国際協力機構(JICA)の研修生を含む17カ国、85人の外国人が参加。食文化・民族衣装・音楽を通じて、石狩市民と交流を深めました。当日は、それぞれの国の料理や雑貨が販売されたほか、ステージでは多国ファッションショーなども開催。最後は皆で「いしかりシャケサンバ!」を踊り、大いに盛り上がりました。

Voice

とても楽しかったです! ワールドフェスティバルは素晴らしいと思います。ブースの中では、カナダのブースが1番だと思います。会場はとてもおいしいような食べ物があったんです。(ALTのラルエケ・イケジアンさん)



■11/10(日) 芸術の秋、厚田の文化祭

厚田地区の市民文化祭は「厚田生涯学習フェスティバル」と銘打って、厚田総合センターで開催しています。今年も、子どもたちの音楽発表や文化団体による舞台発表のほか、絵画や書道などの展示は力作がそろい、訪れた方々は芸術の秋を満喫していました。今年は花川南中学校の吹奏楽部を招き、演奏に合わせて区内小学生77人と来場者が「もみじ」を合唱。歌を通して心が一つになったひとときでした。

Voice

たくさんの方が見に来て、発表の時は緊張しました。ほかの発表を見て、皆上手ですごいと感じました。小学生としてフェスティバルに参加するのは今年で最後になりましたが、とても楽しかったです。(望来小学校6年 津山聡さん)



■11/20(水) 厚田で手話を学ぼう!

石狩聴力障害者協会の協力を得て、10/30(水)から5週にわたり「厚田放課後子ども教室」(全5回)が厚田保健センターで開催されました。参加した児童は、耳が聞こえないとはどういうことかを知るとともに、「手話は言語」であることを学び、自己紹介や指文字しりとり、手話コーラスなどを体験し、初めての手話を楽しんでいました。

Voice

手話でいろいろなことを教えてもらい、全部覚えたいと思いました。毎回、とても楽しく参加しています。(厚田小学校2年 河合柊弥さん)



■11/24(日) 両親教室

りんくるで年4回開かれる、新米パパ・ママのための教室です。日曜に開催するためパパの参加も多く、この日も妊娠3カ月と5カ月の2組のご夫婦が熱心に助産師の話聞いていました。なお、この教室ではパパに妊婦を疑似体験してもらっていて、約9kgある妊娠シミュレーターを装着したパパは、「こんなに重い!? シャガみづらいし、掃除も大変そう」とママのすごさに驚いていました。

Voice

赤ちゃんが生まれたらかかりっきりになると思い、パパにも助けてもらおうと参加しました。人形を使って赤ちゃんをお風呂に入れる練習は、パパにも体験してもらいたかったので参加して良かったです。(緑苑台の千田寛さん・めぐみさん)

